

関係各位

第 9 回「秋の有田」写真コンテスト 受賞作品決定！ 表彰式は 12 月 8 日(土)開催

秋の有田の風景をテーマにした第 9 回「秋の有田」写真コンテストの受賞作品が決まりました。今年も下記の 2 つの部門で募集をしたところ、福岡県・佐賀県・長崎県のみならず、岡山県・山口県からも応募があり、計 44 名 83 点の写真が集まりました。

- ① 「秋の有田」部門（秋を感じる有田の風景、やきものが並んでいる風景など）
- ② 「薪窯めぐり」部門（秋の有田陶磁器まつり期間中に行われた薪窯焚きの風景）

今年も全体的に作品のレベルが高い作品が多く寄せられました。各賞の受賞者は下記の通りです。

〈審査委員長〉有田町文化協会 顧問 田中直良 氏
〈審査員〉有田町文化協会 写真部 西川巖 氏

【受賞者一覧】

① 「秋の有田」部門

最優秀賞 「紅葉めぐり」 川原義則さん(佐賀県伊万里市)

〈審査員コメント〉

紅葉の色づきを良くとらえている。着物姿の女性が良く映えていて、紅葉が引き立つ位置に上手く配置されている。



最優秀賞「紅葉めぐり」

優秀賞 「光と影」 緒方源太さん(長崎県佐世保市)

〈審査員コメント〉

太陽の光が効果的に使われていて、今までない構図の作品である。



優秀賞「光と影」

優秀賞 「楽しいお買物」 小川武さん(佐賀県有田町)

〈審査員コメント〉

地面いっぱいのイチョウの葉や、左上に少しだけ見えているイチョウの黄色が効いている。
お客様の自然な笑顔から、お買物を楽しんでいる様子が伝わってくる。



優秀賞「楽しいお買物」

事務局特別賞「着物でタイムスリップ」 藤村順子さん(長崎県佐世保市)

〈事務局コメント〉

着物姿の女性達と、内山地区で最も古い町屋がマッチしていて、タイトル通り、まさにタイムスリップしたかのような風景が、上手くとらえられている。



事務局特別賞「着物でタイムスリップ」

②「焔の響演～薪窯めぐり～」部門**薪窯めぐり賞「燃成・36時間」 久家賢二さん(長崎県佐世保市)**

〈審査員コメント〉

薪・炎・窯職人と、必要な要素がバランス良く配置されている。窯職人の真剣な表情が良く出ている。焚口の赤い炎にインパクトがあり、全体を引き立たせている。



薪窯めぐり賞「燃成・36時間」

受賞作品は今後、有田観光協会が制作する紙媒体や Web 上で、有田の秋を表現する写真として使用します。また、受賞作品を展示する「秋の有田」写真展も開催します。

「秋の有田」写真展

【期間】平成 30 年 12 月 8 日(土)～平成 31 年 1 月 20 日(日)

【会場】有田館(佐賀県西松浦郡有田町幸平 1-1-1)

12 月 8 日(土)10 時より、同会場にて表彰式を行います。

なお、表彰式では審査員講評を行います。

**【お問い合わせ】**

一般社団法人 有田観光協会

TEL:0955-43-2121 FAX:0955-43-2100

HP「ありたさんぽ」 <https://www.arita.jp>